



井上日出巳 議員
(創政会)

問 白岡中学校周辺区域の
土地利用は

人口減少、超高齢社会を迎える中で、新たな市街地の拡大は容易ではないと思う。現在、市外へ流出している雇用、消費、娯楽などを市内でまかない、逆に市外から人を呼び込めるように、当該区域と白岡駅西口周辺地域の同時一体的な整備が必要と考えるがどうか。

答 白岡駅西口地域と
一体的に整備を進める

市の顔である白岡駅西口の駅前広場と都市計画道路白岡駅西口線の整備を進めるとともに、現在、駅前に求められている街の機能と新市街地に求められる大型集客施設の機能を実現するための「まちなぎわい創出プロジェクト」を同時に進めていく。

問 篠津北東部地域の
農地利用事業は

本年7月、事業計画者が2回目の関係者説明会を行った。市は、2度の説明会にも出席せず、積極的な対応が見られない。6次産業化のこの計画自体は良い計画だと思う。問題や懸念があるのであれば、質問して指導すべきではないか。この農地をどう保全するのか。

答 農地中間管理機構を
活用し保全する

事業者は大規模圃場での農業の実績がなく、農地法の基準が満たされているのかなど、実現可能性に困難なところがある。今後は、打合せなどの場を持ち、必要な指導などを行っていく。また、農地中間管理機構などの活用により農地として保全に努めていく。



篠津北東部地域



県4区議長会議員研修会

7月11日 久喜市

「人口減少時代における地域活性化」～シティプロモーションの視点から～

東海大学文学部広報メディア学科の河井孝仁氏を講師に迎え、講演が行われました。

講演では、人は自分が幸せになるために、まちに住んでいるのではといった視点から、どのような人が幸せになれるまちなのかということを念頭に置き、地域魅力の創造をしたり、その情報発信を強化する必要性が示されました。

まちの空気や雰囲気言葉をすることで、誰にとってしっくりくるまちなのか、どんな人が共感できるまちなのかということブランドメッセージとして発信し、ブランドとして提起することで、地域魅力創造サイクルを実現させることができるということでした。

シティプロモーションをするにあたっては、ターゲットが誰なのかを明確にし、市民を信頼させ、共感させることで、市民が情報を発信してくれるようになり、シティプロモーションにつながります。市民が伝えたい気持ちは起こさせることが、ブランド浸透のための情報共有促進には必要であり、今後のシティプロモーションの方向性を示してくれる講演会になりました。



講演する河井氏